

2022年10月4日
北海道森林組合連合会
農林中央金庫札幌支店
株式会社コンサドレ

10/8「木の日」PASS MATCH 2022 特別企画
北海道コンサドレ札幌への道産木材を使用したベンチ・ハンガーの寄贈および
ファン・サポーターへの道産木材を使用した木製しおりプレゼント企画実施

北海道森林組合連合会（以下、道森連）および農林中央金庫札幌支店（以下、農林中金）は森林の大切さや木の温もりを伝える取組みを進めています。かかる中、本日10月4日に道森連および農林中金から株式会社コンサドレ（以下、コンサドレ）に、道産木材を使用した木製ベンチ・ハンガーの寄贈を行いました。

そして、10月8日「木の日」には、札幌ドームで開催予定のJリーグ第32節（対アビスパ福岡戦）にて、特設ブースにご来場いただいたファン・サポーターのみなさまを対象に、道産木材を使用した木製しおりをプレゼントする企画を実施いたします。特設ブースでは北海道庁と連携し、道産木材の利用促進や適切な森林循環の重要性等のPR活動も行う予定です。ぜひ、ご来場をお待ちしております。

《寄贈式の様子》



記

1 本件取組概要

<「道産木材を使用した木製ベンチ・ハンガー寄贈」の概要>

寄贈内容	道産木材を使用した木製ベンチ	道産木材を使用した木製ハンガー
樹種	道産カラマツ（ようてい森林組合の「ようていカラマツ」を今回活用）	道産ハンノキ（チップとして使われることが多い樹種を今回有効活用）
数量	5 基	50 本
用途	宮の沢白い恋人サッカー場に 5 基設置。選手、監督、ファン・サポーターなど多くの方々に使用いただきます。	出場選手が試合で着用するユニフォームを掛けるハンガーとして使用いただきます（20 本）。また、宮の沢白い恋人サッカー場のロッカールームにて、所属選手に使用いただきます（30 本）。

<「道産木材を使用した木製しおりプレゼント」の概要>

実施日時	2022 年 10 月 8 日（土） 11 時（開場）～16 時 15 分（試合終了 30 分後） ただし、予定数に達し次第終了。
実施場所	札幌ドーム コンコース内特設ブース （北海道札幌市豊平区羊ヶ丘 1）
プレゼント内容	道産木材を使用した木製しおり 2,000 枚 （5 樹種：トドマツ、シラカバ、メジロカバ、シナノキ、クルミ）
プレゼント方法	特設ブースにご来場いただいたみなさまを対象に、1 人 1 枚プレゼント。

本取組の背景については別紙資料をご参考願います。

2 寄贈式について

本日、10月4日に開催された寄贈式では、日ごろコンサドーレの選手たちが練習場として活動している宮の沢白い恋人サッカー場にて、道森連代表理事副会長の根布谷禎一と農林中金札幌支店長の加藤弘節からコンサドーレの宮澤選手・荒野選手に、道産木材を使用した木製しおり・ハンガー・ベンチの寄贈を行いました。本日寄贈した道産木材を使用した木製しおりは、10/8「木の日」PASS MATCH 2022 当日に特設ブースにご来場いただいたファン・サポーターのみなさまにプレゼントいたします。

《寄贈を行った道産木材を使用したベンチ》



©2022 CONSADOLE



©2022 CONSADOLE

©2022 CONSADOLE

«寄贈を行った道産木材を使用したハンガー»



©2022 CONSADOLE

3 今後の取組み

今後も道森連および農林中金は森林の大切さの発信や、道産木材の利用拡大活動を含む道内森林の「植えて育てて、伐って使って、また植える」という資源の循環維持を通じて、森林の「国土の保全」、「水源のかん養」、「生物多様性の保全」、「地球温暖化防止」、「木材の生産」等の多面的機能の発揮を図り、地域の振興と道民の豊かな生活づくりに貢献していきます。

以上

【本件にかかるお問合せ先】

北海道森林組合連合会（熊野、菊森）	011-621-4293
農林中央金庫札幌支店（松嶋、森内）	011-241-4218
株式会社コンサドーレ（久保田）	011-777-5310

【ご参考】

北海道森林組合連合会について

住所	札幌市中央区北 2 条西 19 丁目 1 番地 9
代表者	有末 道弘
設立年	1942 年 2 月
事業内容	道内 78 森林組合の連合組織として、森林組合と一体となって『森づくり・地域づくり・人づくり』に貢献し、健全な森林を守り育てるための活動を実施。
関連 URL	https://www.doshinren.or.jp/

農林中央金庫について

住所	東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号
代表者	奥 和登
設立年	1923 年 12 月
事業内容	JA（農協）・JF（漁協）・JForest（森組）などからの出資および JA バンク・JF マリンバンクの安定的な資金調達基盤を背景に、会員や農林水産業者、農林水産業に関連する企業などへ貸付を行うとともに、最終的な運用の担い手として国内外で多様な投融資を行い会員へ安定的に利益を還元。
関連 URL	https://www.nochubank.or.jp/

株式会社コンサドーレについて

住所	札幌市西区宮の沢 2 条 3 丁目 4-1
代表者	三上 大勝
設立年	1996 年 4 月
事業内容	日本プロサッカーリーグの J1 リーグに所属するサッカークラブ「北海道コンサドーレ札幌」を運営。2021 年には SDG s プロジェクトとして「PASS」を発足し、サステイナブルな社会の実現に向けた取組にも注力。
関連 URL	https://www.consadole-sapporo.jp/

10/8「木の日」PASS MATCH 2022特別企画

北海道コンサドーレ札幌への道産木材を使用したベンチ・ハンガーの寄贈
および
ファン・サポーターへの道産木材を使用した木製しおりプレゼント企画実施

2022年10月4日



農林中央金庫

- 本日10月4日に、北海道森林組合連合会（以下、道森連）および農林中央金庫札幌支店（以下、金庫）から株式会社コンサドーレ（以下、コンサドーレ）に、道産木材を使用した木製ベンチ・ハンガーの寄贈を行いました。
- また、三者で連携した企画として、10/8のJリーグ第32節（対アビスパ福岡戦）開催地の札幌ドームにて、ファン・サポーターのみなさまに道産木材を使用した木製しおりプレゼントする企画を実施いたします。

全体概要

道産木材を使用した木製ベンチ・ハンガーの寄贈

- 「道産木材を使用した木製ベンチ」は、宮の沢白い恋人パークサッカー場に設置いただき、選手、監督、ファン・サポーターのみなさまに使用いただくことを想定しております。
- 「道産木材を使用した木製ハンガー」は、札幌ドームおよび札幌厚別公園競技場で開催されるホーム戦のロッカールームにて、試合用ユニフォームを掛けるハンガーとして使用いただくことを想定しております。

道産木材を使用した木製しおりプレゼント

- 道民の方々に森林の大切さや木の温もりを伝えるべく、10月8日「木の日」に札幌ドームで開催予定のJリーグ第32節（対アビスパ福岡戦）にて、特設ブースにご来場いただいたファン、サポーターのみなさまを対象に、「道産木材を使用した木製しおり」をプレゼントする企画を実施いたします。
- 特設ブースは北海道とも連携し、道産木材の利用促進等に向けたPR活動を行う予定です。

道森連と金庫のこれまでの取り組み①

- 道森連と金庫は、これまでも共同で様々な木育活動に取り組んでまいりました。
 - 「木育」とは北海道発祥の言葉であり、子どもをはじめとするすべての人が木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

道森連と金庫が道内で行う木育活動（子どもをターゲットにした取り組み）

＜認定こども園への木のおもちゃ贈呈＞



- 道内の認定こども園に対して木のおもちゃを贈呈（道森連・金庫で実施）。2021年度の寄贈先は2施設（訓子府町、標津町）。
- 木のおもちゃについては、道産ナラ・ミズキ・カラムツ・トドマツなどを使用。

＜木育フェスタでのブース出展＞



- 北海道主催の木育フェスタのうち「道民森づくりの集い」や「全道植樹祭・育樹祭」などの森林イベントにブース出展（道森連・金庫合同）。
- 緑の募金協力者への木育グッズ配布、木育資材展示、林業パネル展示などを実施。

＜木育資材の貸出＞



- 民間・公共を問わずイベントに対して木育資材貸出（道森連・金庫で実施）。
- 木育資材としては、木棒のプール（道産トドマツ・カラムツ）、スギブロック（道産スギ）、どうぶつオセロ（道産エゾマツ）などを準備。

＜木育カルタの贈呈＞



- 全道の幼稚園・認定こども園等にオリジナルカルタ1,100セットを贈呈（森と緑の会・道森連・金庫で実施）。
- カルタ標語・原画は過去の森林関係コンクール作品で構成。併せて、木製カルタ3セットを制作しイベントで貸出中。

※詳細は北海道森林組合連合会のホームページをご参照ください（<https://www.doshinren.or.jp/contribution/index.html>）

道森連と金庫のこれまでの取り組み②

- 2021年度は道産木材の主な消費者である「大人」をメインターゲットとし、道産木材の温もりや親しみを感じてもらい、購買時に道産木材を選んでいただくきっかけづくりとなるような木育活動にも取り組みました。

道森連と金庫が道内で行う木育活動（大人をターゲットにした取り組み）

＜「道産木材を使用した木製しおり」プレゼント企画＞



- (株)リアブルが運営する大型複合書店「コーチャンフォー」の札幌市内3店舗で「道産木材を使用した木製しおり」プレゼント企画を開催。
- 9/21-10/10に雑誌・コミックを除く書籍購入者10,000人に対して、木製しおりと森林・林業への啓蒙・理解促進オリジナルチラシをセットでプレゼント（樹種：トドマツ・スギ・シラカバ・シナノキ・メジロカバ・クルミ）。あわせて、店舗では、オリジナルポスター設置、道産材製品コーナー設置、林業書フェア開催。

＜「道産木材を使用した木製しゃもじ」プレゼント企画＞



- 全国育樹祭のお手入れ行事が開催された「苫東・和みの森」を管内にもつJAとまこまい広域で「道産木材を使用した木製しゃもじ」企画を開催。
- 10/1-31に当JAの新米購入者に対して、オリジナルチラシ2,000枚をレジにて手渡し、木製しゃもじを応募・抽選制で200人に対してプレゼント（樹種：セン）。あわせて、店舗では、オリジナルポスター設置、道産材製品カタログ設置、緑の募金運動を実施。

- コンサドーレでは、北海道と包括連携協定を締結し、「道産木材・HOKKAIDO WOODの啓発活動への協力」を取組事項に掲げている他、「コンサ百年の森づくり」活動で植林活動を行う等、これまでも森林・木材分野の取組みに注力してまいりました。

コンサドーレが道内で行う取組み

<支笏湖周辺森林での植樹活動>



- 「コンサ百年の森づくり」として、台風被害を受けた支笏湖周辺国有林のうち、11.63haを対象に植林活動を実施し、失われた森林の復興に向けて取組んだ。2008年から2010年にかけて、約8,000本の植樹を達成。
- 現在は子どもたちへ森林の大切さや役割について理解促進を図るべく、小学生対象に「森の教室」を開催。

※詳細はコンサドーレのホームページをご参照ください
[\(https://www.consadole-sapporo.jp/hometown/nature/\)](https://www.consadole-sapporo.jp/hometown/nature/)

<北海道との包括連携協定>



- コンサドーレは、2021年9月に締結した北海道との包括連携協定のうち、「北海道の魅力発信に関する事項」において、「道産木材・HOKKAIDO WOODの啓発活動への協力」を掲げており、道産木材利用拡大や、適切な森林循環の維持に向けた強い思いあり。
- また、「読書機会の促進に係る啓発活動への協力」も当協定内の取組事項の一つ。

※詳細はコンサドーレのホームページをご参照ください
[\(https://www.consadole-sapporo.jp/news/2021/09/6537/\)](https://www.consadole-sapporo.jp/news/2021/09/6537/)

- 森林は「水源の涵養」「国土の保全」「地球温暖化の防止」等、国民生活および国民経済に貢献する多面的機能を有します。
- これら森林が持つ多面的な機能を持続的に発揮していくためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」という森林資源の循環利用が必要となります。

<森林資源の循環利用を担う木材産業>

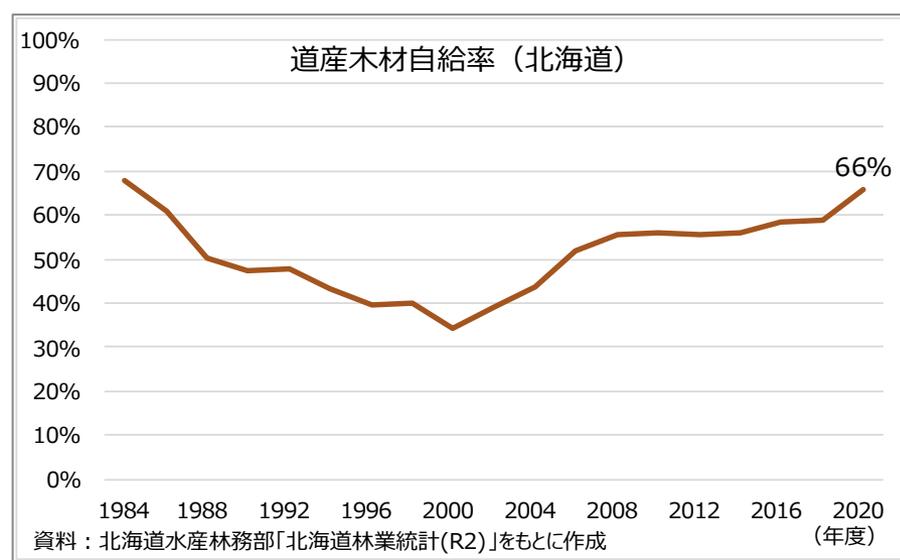
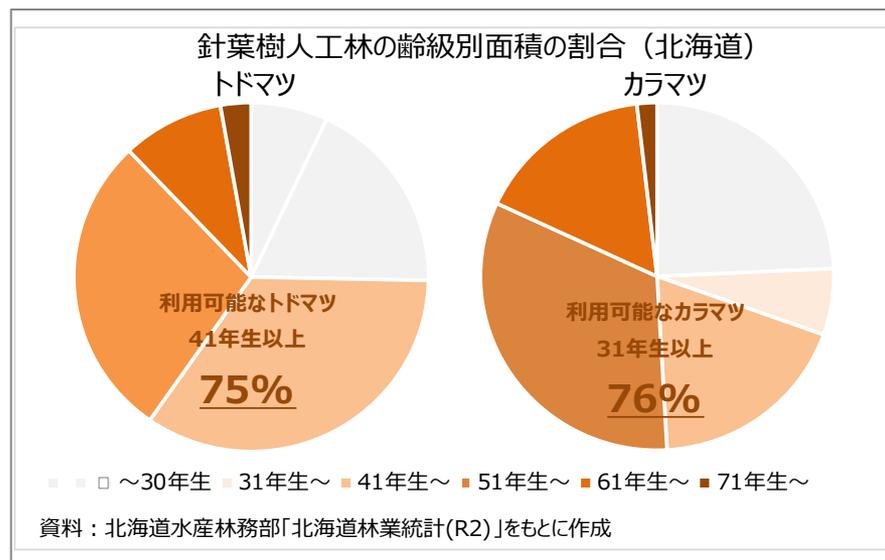


出典：「令和3年度 森林・林業白書」(林野庁)

- 北海道では利用可能な人工林の蓄積が進行しており、道産木材の活用を拡大する余地があります。
- 道内における適切な森林資源の循環利用を行うために、道産木材の利用拡大が課題と認識しております。中でも建築材については、道内消費の8割が輸入材・本州材で賄われており、道産木材の利用拡大余地があると認識しております。

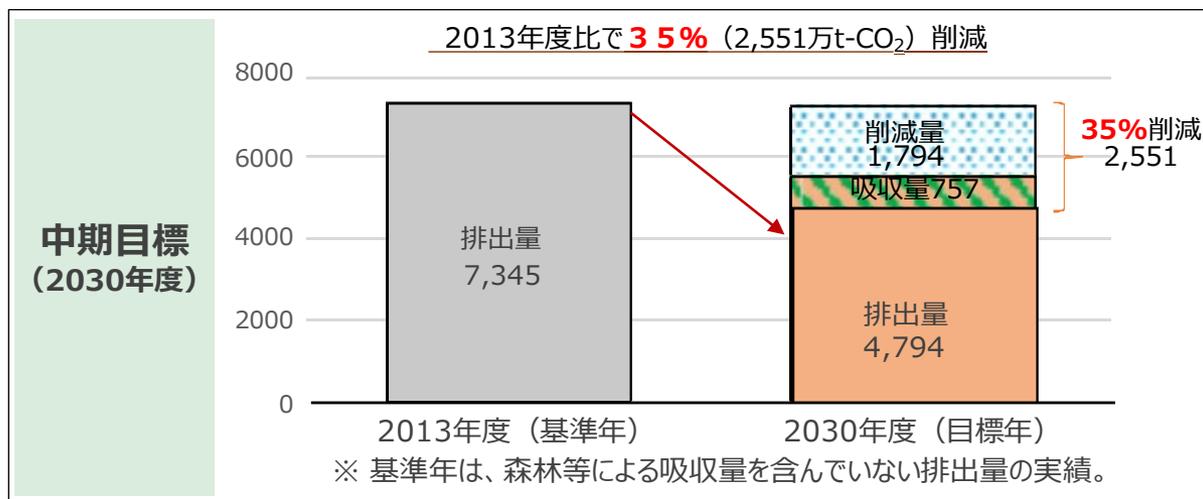
<道内森林資源の循環利用状況>

- 戦後に植林した人工林が成長し、本格的に利用可能な時期を迎えております。
 - トドマツ：41年生以上が75%を占めます。
 - カラマツ：31年生以上が76%を占めます。
- 足元では「ウッドショック」で追い風ですが、2020年度の道産木材自給率は7割に満たない水準です。
- さらに用途を建築材に限って見ると、道産木材の自給率は2割程度と低水準で、建築材の8割には輸入材・本州材が利用されているのが現状です。



- 2020年3月に北海道は「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すこと」を表明。重点的に進める取組みの一つとして「森林等の二酸化炭素吸収源の確保」を掲げました。
- これまで以上に、森林の持続的な機能発揮、炭素貯蔵効果のある木材利用拡大など、森林資源の循環利用に期待されている状況と認識しております。

<北海道の温室効果ガス排出量削減目標>



北海道地球温暖化対策推進計画 (2021年～2030年度) では、「多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化」「豊富な再生可能エネルギーの最大限の活用」「森林等の二酸化炭素吸収源の確保」を重点的に進める取組みとし、2030年度までに温室効果ガス排出量の2013年度比35%削減を掲げました。



北海道では脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進め、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しております。

出典：北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）を加工

- 「北海道森林づくり基本計画」では、2041年度目標として、道産木材の利用量：540万 m^3 （2019年度比+94万 m^3 ）、木育に関心がある道民の割合：80%（2021年度比+44pt）を掲げております。これら目標の実現のためにも、道森連・金庫は今回、森林資源の循環利用に資する木育活動企画を開催いたします。

<「北海道森林づくり基本計画」>

計画の目標（今後20年程度を見通した長期的な数値目標）

地域の特性に応じた森林づくり

育成単層林・育成複層林・天然生林別森林面積

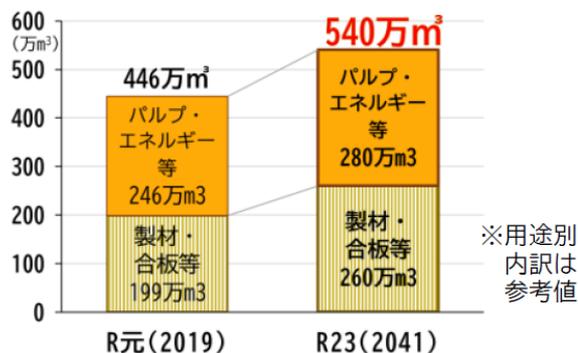


- 効率的な施業が可能な森林は育成単層林
- 針葉樹と広葉樹の混交した森林への誘導などによる、育成複層林の増加

[めざす姿]森林の多面的機能の発揮
(望ましい森林の姿に誘導)

林業及び木材産業の健全な発展

森林づくりに伴い産出され、利用される木材の量

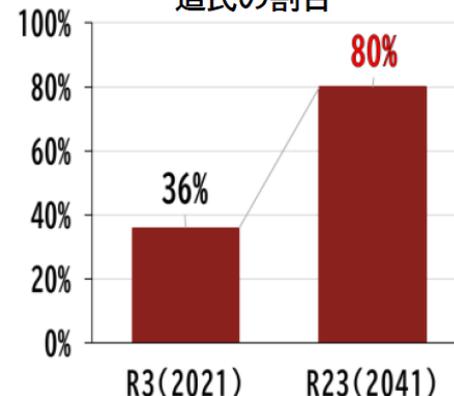


- 住宅や店舗、オフィスなどの建築物や家具、日用品など様々な分野での道産木材利用を促進

[めざす姿]道民生活への木材・木製品の定着
(森林づくりに伴い産出される木材の有効活用)

道民との協働による森林づくり

木育に取り組んでいる道民の割合



- 木育マイスター等との連携のもと、木育の取組を全道に展開し、道民の参加を促進

[めざす姿]道民への木育の定着
(植樹や木工の体験など木育に取り組む)

出典：北海道森林づくり基本計画（令和4年度～令和9年度）

- 2021年10月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行され、国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため、10月8日を「木材利用促進の日（木の日）」、10月を「木材利用促進月間」として法定化されました。
- 今回の企画は、「木材利用促進の日（木の日）」に合わせ開催いたします。

<10月8日「木材利用促進の日（木の日）」、10月「木材利用促進月間」の法定化>

■ 背景・経緯

- これまで公共建築物における木材の利用の促進に取り組むことで、公共建築物の床面積ベースの木造率は2019年度13.8%（2010年度比+5.5%）に上昇。一方で、民間建築物については、木造率の高い低層の住宅以外にも木材の利用の動きが広がりつつあるものの、非住宅分野や中高層建築物の木造率は低位にとどまっています。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するためには、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用を進めることが必要不可欠です。

法律改正（2021年6月公布、2021年10月施行）

脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律

（改正前：公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律）

主な改正内容

- 木材の利用の促進に取り組む対象を、公共建築物等から民間建築物を含む建築物一般に拡大
- 国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため10月8日を「木材利用促進の日（木の日）」、10月を「木材利用促進月間」として法定化

- 道内森林が持つ多面的機能の発揮には、道産木材の利用拡大が課題となります。
- 本企画は道産木材の利用者・消費者である大人をメインターゲットに、道産木材の温もりを感じてもらい、親しみを感じていただき、購買時に道産木材を選んでいただくきっかけづくりをねらいとしております。

<道内森林資源の循環利用にかかる課題を踏まえた本企画のねらい>

森林が持つ多面的機能発揮のための森林資源の循環利用が必要

森林の持つ多面的機能

P.6

- 水源の涵養
- 国土の保全
- 地球温暖化の防止

「ゼロカーボン北海道」

P.8

道内森林資源の循環利用状況

P.7

- 戦後植林した人工林が成長。本格的に利用可能な時期が到来。
- 用途を建築材に限ると、道産木材の自給率は2割程度と低水準。

道産木材の
利用促進を
図りたい

北海道森林づくり基本計画

- 森林の循環利用の促進
- 木育の推進

P.9

10月8日「木材利用促進の日」法定化
10月「木材利用促進月間」法定化

P.10

本企画の ねらい

本企画は道産木材の利用者・消費者である大人をメインターゲットに、道産木材の温もりを感じてもらい、親しみを感じていただき、購買時に道産木材を選んでいただくきっかけづくりをねらいとしております。

本企画連携の背景

- コンサドーレは2021年に北海道と包括連携協定を締結、北海道の魅力発信に関する事項の一つとして「道産木材・HOKKAIDO WOODの啓発活動への協力」を掲げております。また、これまでも植樹活動や木育活動にも積極的に取り組んでおります。
- 今般、道産木材の魅力や森林循環の大切さを伝えたいという想いが一致し、道森連・金庫・コンサドーレによる三者連携企画が実現しました。

道内森組系統・金庫の想い

- 道産木材・HOKKAIDO WOODブランドを広め、本格的な利用期を迎えるトドマツ・カラマツ等道産木材の利用拡大を図りたい。
- 適切な森林循環が森林の多面的機能発揮やゼロカーボンに貢献することを伝えたい。
- 森林づくりと持続可能な木材生産を進める森林組合(JForest)の役割を知ってほしい。



コンサドーレの想い・取組み

- 道産木材・HOKKAIDO WOODの普及啓発活動に協力したい。
 - オリジナル木製グッズの販売を検討中
- 森林の重要性を発信したい。
 - コンサ百年の森づくり「森の教室」

本件連携

- ✓ 道産木材の魅力や森林循環の大切さを伝えたいという想いが一致。
- ✓ 同じ想いを持つコンサドーレの道産木材・HOKKAIDO WOODの普及啓発活動を後押しすべく、道森連と金庫から、道産木材を使用した木製ベンチとハンガーを寄贈いたします。
- ✓ また、三者が連携して道産木材を使用した木製しおりを多くの方々にプレゼントする企画が実現いたしました。

- 本日10月4日に、道森連・金庫からコンサドーレへ、道産木材を使用した木製ベンチおよびハンガーの寄贈を行いました。

道産木材を使用した木製ベンチの寄贈の概要

寄贈内容	<p>ようてい森林組合製造 道産木材を使用した木製ベンチ 5基 羊蹄山麓の高強度のカラマツを使用。</p>
用途	<p>宮の沢白い恋人サッカー場に設置。 選手、監督、ファン・サポーターなど多くの方々に利用いただきます。</p>
想い	<p>誰でも気軽に立ち寄ることができる宮の沢白い恋人サッカー場にて、多くの方々に長期間に渡って親しんでいただき、道産木材の魅力を感じていただきたい。</p>

道産木材を使用した木製ハンガーの寄贈の概要

寄贈内容	<p>道産木材を使用した木製ハンガー 50本 道産ハンノキを使用。製紙用チップとして使われることが多い樹種を今回活用。</p>
用途	<p>20本：ホーム戦となる札幌ドームおよび札幌厚別公園競技場のロッカールームにて、出場選手が試合で着用するユニホームを掛けるハンガーとして利用いただきます。 30本：宮の沢白い恋人サッカー場のロッカールームにて、所属選手に利用いただきます。</p>
想い	<p>選手に利用いただき、道産木材の魅力を感じていただき、その魅力を多くの方たちに発信いただきたい。</p>

- 道森連・金庫からコンサドーレへ、道産木材を使用した木製しおりを寄贈いたします。
- 「木の日」10月8日のアビスパ福岡戦にて、札幌ドームの特設ブースを設置。ブースにご来場いただいた方を対象に、「道産木材を使用した木製しおり」をプレゼントします。

「道産木材を使用した木製しおりプレゼント」の概要

実施日時

10月8日（土）Jリーグ第32節 対アビスパ福岡戦
 11：00（開場）～16：15（試合終了30分後）
 ただし、プレゼント予定数に達し次第終了

実施場所

札幌ドーム コンコース内特設ブース
 北海道庁のご協力をいただき、特設ブースを出展いたします。
 当日は北海道庁様と連携し、道産木材の利用促進等に向けたPR活動を行う予定です。

プレゼント内容

道産木材を使用した木製しおり
プレゼント総数：2,000枚
 樹種：トドマツ、シラカバ、メジロカバ、シナノキ、クルミ

プレゼント方法

特設ブースにご来場いただいた方を対象に、1人1枚プレゼント。

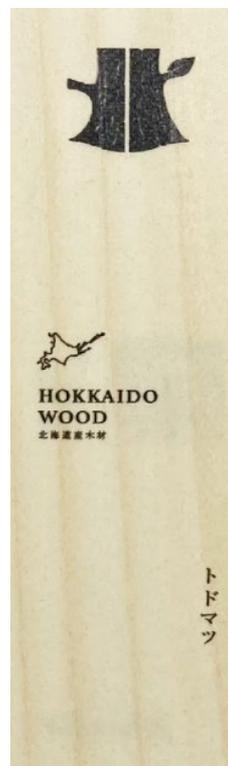
- 木製しおりのイメージは以下のとおりです。

プレゼントする木製しおり（5樹種）

【オモテ】



【ウラ】トドマツ



シナノキ



クルミ



メジロカバ



シラカバ



- 本企画で連携した組織についてご紹介いたします。

各組織のご紹介

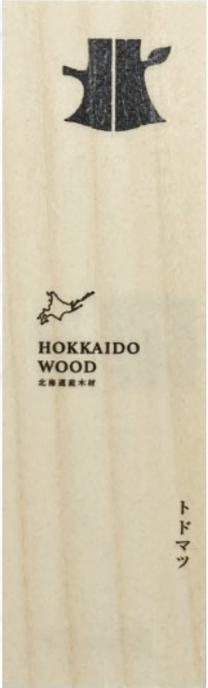
	<u>本社</u>	<u>代表者</u>	<u>設立年月</u>	<u>事業内容</u>
 北海道森林組合連合会	札幌市中央区北2条 西19丁目1番地9	有末 道弘	1942年2月	道内78森林組合の連合組織として、森林組合と一体となって『森づくり・地域づくり・人づくり』に貢献し、健全な森林を守り育てるための活動を実施。
 農林中央金庫	東京都千代田区大手 町一丁目2番1号	奥 和登	1923年12月	JA（農協）・JF（漁協）・JForest（森組）等からの出資およびJAバンク・JFマリンバンクの安定的な資金調達基盤を背景に、会員や農林水産業者、農林水産業に関連する企業などへ貸付を行うとともに、最終的な運用の担い手として国内外で多様な投融資を行い会員へ安定的に利益を還元。
 HOKKAIDO Consadole SAPPORO	札幌市西区宮の沢2 条3丁目4-1	三上 大勝	1996年4月	日本プロサッカーリーグのJ1リーグに所属するサッカークラブ、「北海道コンサドーレ札幌」を運営。2021年にはSDGsプロジェクトとして「PASS」を発足し、サステイナブルな社会の実現に向けた取組にも注力。

10/8「木の日」PASS MATCH 2022 特別企画

北海道コンサドーレ札幌・北海道森林組合連合会・農林中央金庫の連携企画 道産木材を使用した木製しおりプレゼント

10月は「木材利用促進月間」として、2021年より法定化されている月間です。
中でも、本日10月8日は「十と八」で「木」の日、と定められた特別な一日です。

～今回プレゼントする道産木材のしおりのご紹介～

オモテ	ウラ (トドマツ)	シラカバ	クルミ	
				樹種：トドマツ（針葉樹） 特徴：白色、軽柔 用途：建築材、梱包材等
				樹種：シラカバ（広葉樹） 特徴：淡黄褐色、やや軽柔 用途：工芸品、フローリング等
				樹種：クルミ（広葉樹） 特徴：茶褐色、均質で重硬 用途：家具、フローリング等
				樹種：メジロカバ（広葉樹） 特徴：ピンクに近い褐色、重硬 用途：高級内装材、家具等
				樹種：シナノキ（広葉樹） 特徴：淡黄白色、軽軟 用途：建築材、彫刻、合板等

～ロゴマークのご紹介～



「HOKKAIDO WOOD」は道産木材製品のブランド名称です。北海道の森林で産出された木材を用いて、道内で加工された製品を道産木材製品としております。



公式HP



森林組合（JForest）は、全国各地で森林づくりと持続可能な木材生産を進める協同組合です。道内では78森林組合と北海道森林組合連合会が活動しています。



道森連インスタ

～コンサドーレのPASSプロジェクトについて～

「PASS」とはPositive Action for sustainable Societyの略称。次世代へサッカー、スポーツを心から楽しめる世界を受け継いでいくために取り組むポジティブなアクションを意味します。

本企画も「PASS」の名前の通り、人や企業、自治体などを、北海道コンサドーレ札幌がボールをパスするようにつなげていくことで、SDGsの有用性を高めることを一つの狙いとしています。



PASSプロジェクトのロゴマーク



農林中央金庫

HOKKAIDO WOODを

使うことで生まれる、 北海道の良い循環。

“HOKKAIDO WOODを使う”というアクションは、北海道の環境・経済・暮らしの中で様々なメリットを生み出し、山からまちへ、まちから山へ、北海道の良い循環を生み出します。日々の暮らしの中に、“HOKKAIDO WOOD”という選択を取り入れてみませんか？

雇用の確保

林業や木材加工業などの産業が盛んになり、雇用が確保されます。豊かな森は、森林サービス産業など、新たなビジネスの可能性も秘めています。

二酸化炭素吸収

森は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収します。日暮一の面積を誇る北海道の森林を健全に保つことは、地球温暖化の防止に大きく貢献するのです。

生物多様性保全

豊かな森は多様な生命を育みます。北海道の魅力のひとつである、多様な動物や植物は、北海道の豊かな森があるからこそ、育まれているのです。

災害防止

豊かな森は土砂災害や洪水を防ぎ、人々の暮らしの安全を守ります。

水をきれいに

豊かな森は天然のダムとなり、きれいな水を提供します。

脱プラスチック

木材は再利用しやすいサステナブルな素材として、プラスチックの代替となります。木材ならではのあたたかみや個性も魅力です。

炭素の貯蔵

木材は二酸化炭素を炭素として貯蔵するので、大気中の二酸化炭素量の減少に役立ちます。木材製品を暮らしの中で使うことは、地球温暖化防止に貢献するのです。

健康で豊かなくらし

木の香りに包まれる居心地のいい建物。あたたかみのある木の家具や道具。暮らしを支え、潤す豊かな自然。そして、綺麗な空気。HOKKAIDO WOODを北海道で使うことは、北海道での健康で豊かな暮らしにつながります。



©1996 CONSADOLE

©1996 CONSADOLE

©1996 CONSADOLE



資料提供：北海道

〈本チラシのお問合せ先〉

北海道森林組合連合会

011-621-4293

soumu-shidou@doshinren.or.jp

農林中央金庫札幌支店

011-241-4218

e1_sapporo@nochubank.or.jp